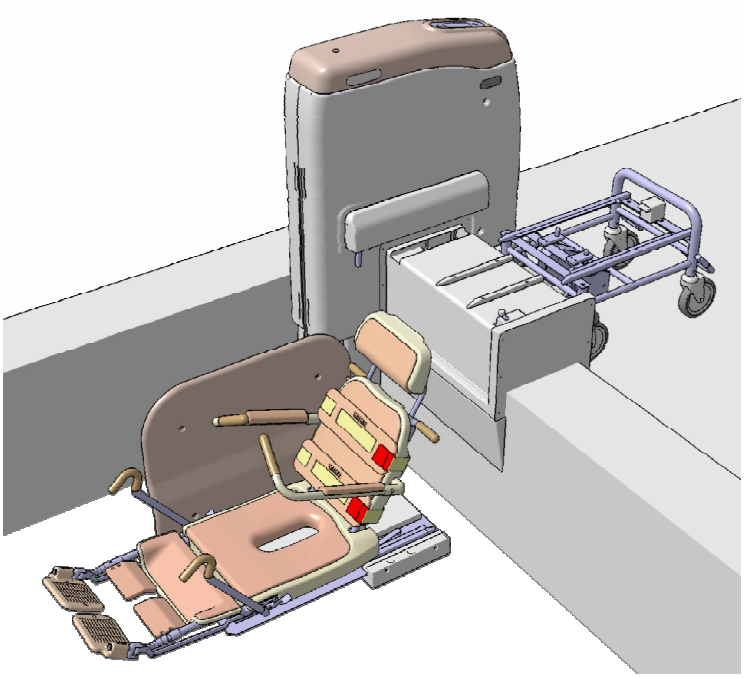
SAKAImed

取扱説明書

Liner Lift

ライナーリフト（縦移動型）

ＬＬ－４００R/L



＊このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

＊「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-163②KZ

もくじ

安全上のご注意 …… 3
各部の名称 …… 7
組み合わせ …… 9
ご使用になる前に …… 10
電源 …… 10
本製品による入浴のできない方 …… 10
操作方法（各部） …… 11
リフトへの車椅子の連結・連結解除操作 …… 11
車椅子の上下分離・合体操作 …… 12
リフトの操作 …… 14
出浴復帰スイッチの操作 …… 16
清掃スイッチの操作 …… 17
停電時の操作 …… 18
リモコンスイッチの操作（オプション） …… 19
入出浴手順 …… 20
入浴終了後の操作 …… 27
日常のお手入れ …… 28
清掃 …… 28
メンテナンス …… 28
このようなときには …… 29
機器の保守・点検について …… 30
保証とアフターサービス …… 31
仕 様 …… 32

用途

本製品は、座位姿勢の可能な方で、介護を必要とされている方に、車椅子に着座したまま一般浴槽に安全で快適に入浴していただくことを目的としたリフト式入浴装置です。

特長

使い易く安心感のあるリフト

リフト本体が片側なので、介助者にとっては横からの介助が大変しやすく、入浴者にとっては介助者がそばにいるので安心して入浴ができます。

浴室及び浴槽スペースの有効利用

浴槽の端の壁と縁に接近させて配置が可能で、浴槽内は柱のみの取り付けで設置が可能です。また本機体を使用しない場合は、浴槽縁からの張り出し量を極力少なくしているため、浴室のスペースを有効的に利用できます。

オプション設定

介助者が常に入浴者のそばでコミュニケーションを図るように、リモコンスイッチをオプションで用意しました。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・その他入浴

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない

正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

⚠注意

使用電圧は交流 100Ｖ±5%の範囲内で使用する

範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

本機が一般浴槽に設置してある場合、他の入浴者に注意

浴槽内のスライド台下に他の入浴者が入り込むと危険です。

この製品は、一部に天然ゴムを使用しています

かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

リモコン

⚠ 注意

リモコンスイッチに水をかけない
かかってしまったときは、すぐに乾いたタオル等で拭いてください。

リモコンスイッチのボタンは、必ず親指の腹で押す
鋭く固いものなどで押すと、故障や動作不良の原因になります。

リモコンスイッチの取り扱いに注意
床に落としたり足で踏んだりすると故障の原因となります。

リモコンスイッチはリフトの近くで操作する
遠いとリモコンコードが引っ張られて破損する恐れがあります。

入浴者にリモコンスイッチの操作をさせない
リモコンコードが車椅子やスライド台に引っかかり、破損する恐れがあります。

リモコンコードの位置に注意
スライド台が動いたときに引っかかると、破損する恐れがあります。

車椅子上への移乗・車椅子での移動

⚠ 警告

入浴者をフットレストの上に立たせない
車椅子後部が浮き上がり非常に危険です。

車椅子上へ移乗させるときは、キャスターを必ずロック
ロックしていないと、車椅子が移動し事故の原因になります。

車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、ひじを手すりの内側に入れ、２本の安全ベルトを使用する

- 手すりを握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、ベルトをゆるめ過ぎるなど固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトの端面やバックルで擦れてけがをしたりする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意
キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒したりする恐れがあります。

⚠ 注意

車椅子の移動は、ゆっくりと
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。特に、強い力で車椅子を押し引きしたり手を離したりせず、必ず最後まで手を添えて移動を行ってください。

⚠ 警告

リフト本体の車椅子連結部は、サービスマン以外触らない

車椅子連結部を不用意に触ると、本体側で車椅子の進入と誤認する可能性があります。誤認した場合、車椅子固定用フックが作動し、大変危険ですので絶対に触らないでください。

椅子上部を移動するときは、スライド台上のレールの位置と椅子上部下面のレールの位置が上下・左右とも同一線上にあることを確認

椅子上部が脱落するなど思わぬ事故が発生する他、機器の破損の原因になります。

移動後は、椅子上部とスライド台のロックを必ず確認

入浴者が落下する恐れがありますので、車椅子上部を最後まで押し込み、走行用ハンドルを押し引きして確認してください。

スライド台が停止するまで、絶対に椅子上部を引かない

動作途中で椅子上部を引くと、スライド台に入浴者の足を挟む恐れがあります。

椅子上部と下部を分離/合体させるときには、入浴者の足元に注意

入浴者の足がフットレストから落ちていると、けがをする恐れがあります。

椅子上部と下部の合体は、緑マークで確認すること

出浴時、椅子下部合体マーカーの緑マークが見えない場合は、椅子上部と下部が合体していません。確実に緑マークが見える位置まで椅子上部を引き出してください。

椅子上部と下部を合体させた後は、椅子上下の合体状態を確認

車椅子を前後に押し引きして椅子上下が分離しないことを確認してください。

入浴スイッチを押す前に、必ず手で浴槽内湯温を確認

熱いとやけどをする恐れがあります。

入浴スイッチを押す前に、リフト周囲の安全を確認

リフト付近に他の入浴者がいた場合、挟み込みの恐れがありますので、必ず安全を確認してから入浴スイッチを押してください。

入浴中の入浴者の状態に注意

入浴者の水没等がないように、常に看視してください。

入浴・出浴動作中、入浴者の手足に注意

思わぬ所で挟まれる恐れがあります。また、手、肘、足先、膝が車椅子の幅よりはみ出ていると、駆動部に当たるなどけがをする恐れがあります。危険を感じたらすぐに停止スイッチを押してください。

入浴から出浴

⚠ 注意

車椅子を連結台にセットするときは、入浴者の足先に注意
車椅子連結時は、必ずフットレストを持ち上げてください。また、入浴者の足がフットレストから落ちていると、けがをする恐れがあります。

車椅子上部を移動するときは、周囲に注意
前方に別の入浴者や障害物がないことを確認してください。また、手、肘、足先、膝が車椅子の幅よりはみ出していると、駆動部に当たるなど、けがをする恐れがあります。

車椅子上部の移動は、ゆっくりと
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。

リフトを動かすときは、周囲を確認する
浴槽内のリフト動作範囲内に障害物や別の入浴者・介助者がいないことを確認してください。

入浴者に異変があったら、すぐに入浴を中止する
入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

出浴復帰スイッチの操作を行った後は、本製品の使用を中止
入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

ご使用後

⚠ 注意

操作スイッチにシャワー等で水をかけない
水がかかると電気系統の故障の原因になります。

使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる
湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。

使用後は必ず電源を切り、電源ランプが消えていることを確認する
事故を防止します。

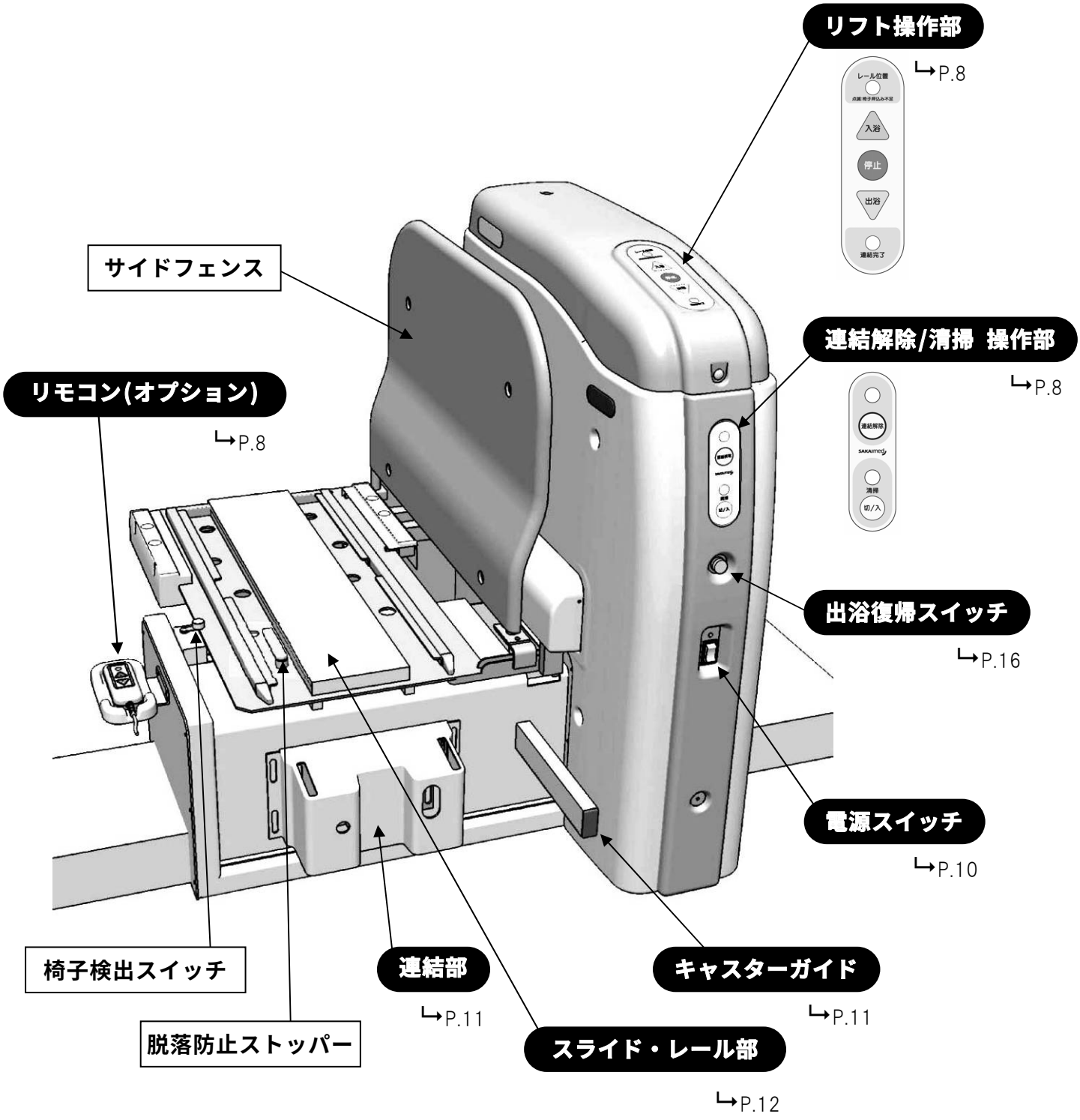
納入時のビニールカバーは、破棄する
製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。

湯又は、浴槽の殺菌に塩素を使用する場合は、濃度に注意
濃度が濃いと製品の故障の原因となります。

各部の名称

● ライナーリフト本体：LL-400R/L

（図は右サイド用 LL-400R にオプションを組み合わせたものになります）



●リフト操作部

レール位置確認ランプ
レール位置が入浴可能な状態にあることをお知らせします。
↳P.11

連結完了ランプ
リフトと車椅子の連結が完了したことをお知らせします。
↳P.11

入浴スイッチ
浴槽側へスライド→下降します。
↳P.14

停止スイッチ
リフトのスライド、上昇・下降動作を停止します。
↳P.14

出浴スイッチ
上昇→洗い場側へスライドします。
↳P.14

●連結解除/清掃 操作部

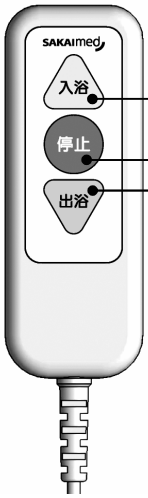
清掃ランプ
清掃モードが作動していることを表示します。
↳P.17

清掃切/入スイッチ
押すごとに清掃モードの切/入ができます。
↳P.17

連結解除ランプ
車椅子の連結解除が可能な状態をお知らせするランプです。
↳P.11

連結解除スイッチ
リフトと車椅子の連結を解除するスイッチです。
↳P.11

●リモコン(オプション)



入浴スイッチ
浴槽側へスライド→下降します。
↳P.19

停止スイッチ
リフトのスライド、上昇・下降動作を停止します。
↳P.19

出浴スイッチ
上昇→洗い場側へスライドします。
↳P.19

組み合わせ

✹ リフトの種類

操作部の位置	型式
右側	LL-400R
左側	LL-400L

✹ 周辺装置(別売り)

入浴用車椅子　・・・・・LL-400C

リモコンスイッチ　・・・・・LL-413

リフトと入浴用車椅子を組み合わせて使用します。

操作方法については、各々の 取扱説明書 をご覧ください。

ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.30の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品の破損や、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

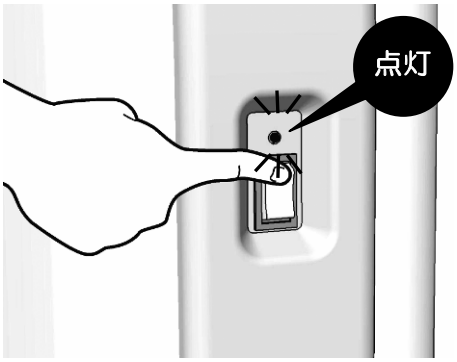
●ご使用中に…

万一故障が発生した場合は、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

電源

使用前にリフト用電源のブレーカーに異常がないか確認してください。

リフト用ブレーカーの電源を入れてから、駆動部正面にある電源スイッチを入れ、電源ランプが点灯していることを確認してください。



ご注意 電源スイッチを入れた後、レール位置確認ランプが消灯している場合は、P.18 の「停電時の操作」に従って操作を行い、レール位置確認ランプが点灯したのを確認してから入浴操作を開始してください。

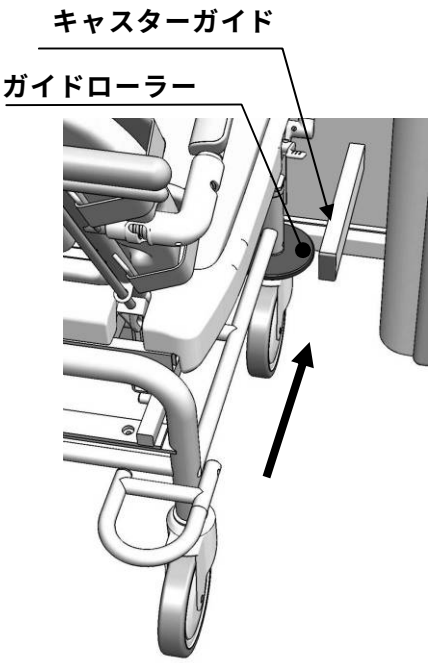
本製品による入浴のできない方

椅子に座った状態を独力で維持できない方、椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかった状態や、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

操作方法(各部)

リフトへの車椅子の連結・連結解除操作

● 連結（リフトへの車椅子連結）



1　レール位置確認ランプが点灯(緑色)していることを確認します。
2　車椅子の足上げハンドルがロックする位置まで持ち上げて、フットレストを上げます。
3　車椅子の走行用ハンドルを持ち、車椅子を連結台のキャスターガイドに沿って進入させます。
4　リフトが車椅子の進入を検知すると、自動的に車椅子が連結されます。
5　リフト操作部の連結完了ランプが点灯します。

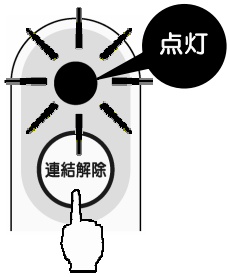
⚠警告　リフト本体の車椅子連結部は、サービスマン以外触らない

車椅子連結部を不用意に触ると、本体側で車椅子の進入と誤認する可能性があります。誤認した場合、車椅子固定用フックが作動し、大変危険ですので絶対に触らないでください。

⚠注意　車椅子を連結台にセットするときは、入浴者の足先に注意

車椅子連結時は、必ずフットレストを持ち上げてください。また、入浴者の足がフットレストから落ちていると、けがをする恐れがあります。

● 連結解除（リフトからの車椅子の切り離し）



1　連結解除ランプが点灯（緑色）していること確認します。
2　連結解除ランプ下の連結解除スイッチを押します。
3　連結部が作動して、連結が解除されます。

参考　入浴中（椅子上部が浴槽内にある場合）は、連結解除ランプが点灯しています。椅子下部の連結を解除したり、再連結することが出来ます。

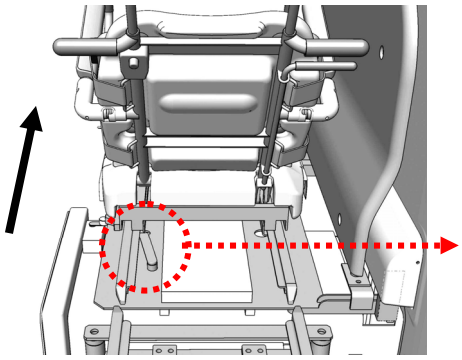
車椅子の上下分離・合体操作

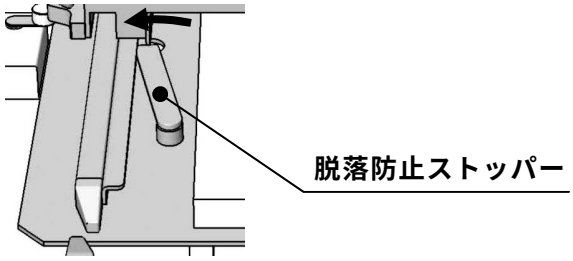
入浴時に車椅子の上部と下部を**分離**します。
出浴時に車椅子の上部と下部を**合体**します。

✸ 入浴時の分離

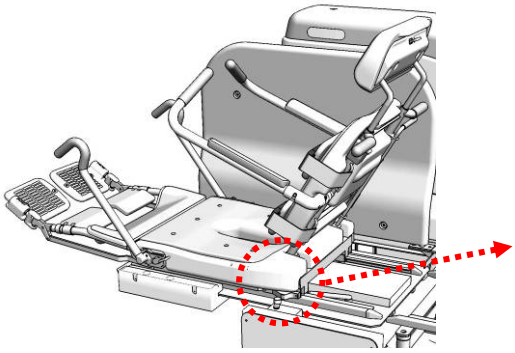
1　車椅子連結後（連結完了ランプ点灯後）、そのままスライド台へ押し込むと車椅子の上部と下部が分離します。

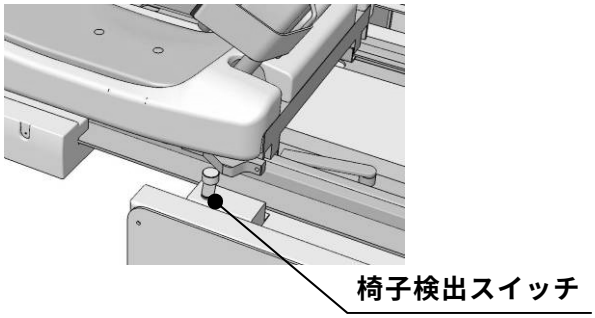
2　椅子上部と下部を分離後、スライド台上の停止位置まで押し込みます。
スライド台上の脱落防止ストッパーが自動的にロック状態になります。





3　椅子検出スイッチが椅子上部の位置を確認すると、入浴開始位置へのセットが完了します。





参考
- 椅子を分離してしまった後に入浴を中断するときは、一度入浴開始位置まで上部を押し込んでから、出浴スイッチを押して、上部を引き出して合体させて下さい。
- 椅子上部の押し込みが足りないために、入浴開始位置へのセットが完了していない場合、入浴スイッチを押してもリフトは動きません。（レール位置確認ランプが点滅し、押し込み不足をお知らせします。）

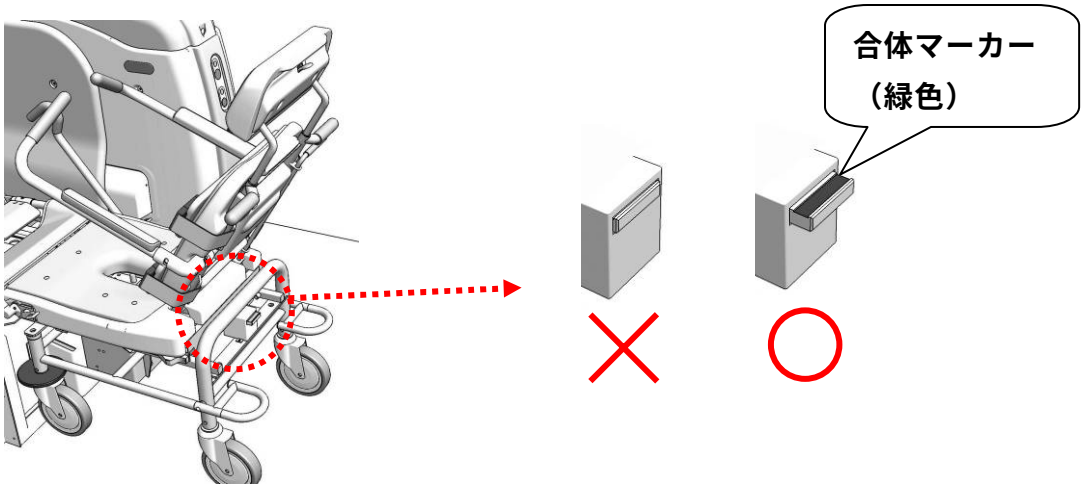
⚠警告
- **椅子上部を移動するときは、スライド台上のレールの位置と椅子下部のレールにずれがないことを確認(上下・左右)**
  上部が脱落するなど思わぬ事故が発生する他、機器の破損の原因になります。
- **移動後は、椅子上部とスライド台のロックを必ず確認**
  入浴者が落下する恐れがありますので、走行用ハンドルを押し引きして確認してください。

✸ 出浴時の合体

1　出浴時、スライド台が戻ってきて移動が停止すると、レール位置確認ランプが点灯し脱落防止ストッパーが解除されます。

2　脱落防止ストッパー解除後、椅子上部の走行用ハンドルを握って、椅子下部合体マーカーの緑マーク(上下合体確認用)が完全に見える位置まで引き出します。

3　椅子の上部と下部が合体すると、連結解除ランプ(緑色)が点灯します。



警告

・スライド台が停止するまで、絶対に椅子上部を引かない

動作途中で椅子上部を引くと、安全装置の故障の原因になります。

・椅子上部と下部を分離/合体させるときには、入浴者の足元に注意

入浴者の足がフットレストから落ちていると、けがをする恐れがあります。

・椅子上部と下部の合体は、緑マークで確認すること

出浴時、椅子下部合体マーカーの緑マークが見えない場合は、椅子上部と下部が合体していません。確実に緑マークが見える位置まで椅子上部を引き出してください。

・椅子上部と下部を合体させた後は、椅子上下の合体状態を確認

車椅子を前後に押し引きして椅子上下が分離しないことを確認してください。

注意

・椅子上部を移動するときは、周囲に注意

前方に別の入浴者や障害物がないことを確認してください。

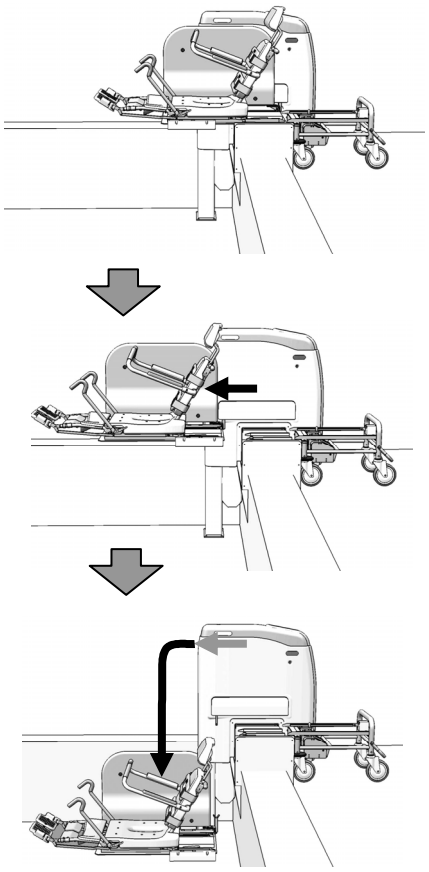
また、手、肘、足先、膝が椅子の幅よりはみ出していると、駆動部に当たるなど、けがをする恐れがあります。

・椅子上部の移動は、ゆっくりと

入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。

リフトの操作

入浴スイッチを押す

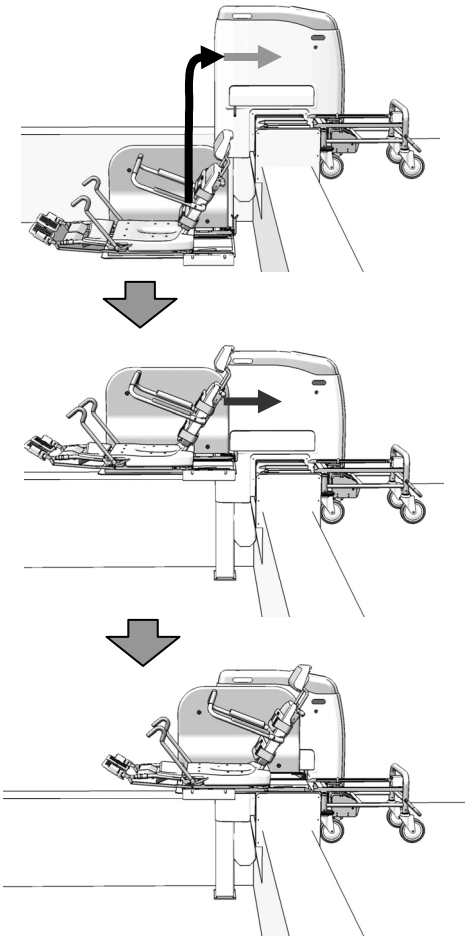


1　スライド台が浴槽方向へ水平移動します。
2　その後下降し始め、リフトは下限位置で自動的に止まります。
3　途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。

参考　椅子上部が入浴開始位置にない場合は、入浴スイッチを押しても入浴動作を開始しません。レール位置確認ランプが点滅し、車椅子上部の押し込み不足であることをお知らせします。点滅している場合は、椅子上部を入浴開始位置まで押し込んでください。

車椅子の下部が、リフト本体に連結されていることを確認します。

- 出浴スイッチを押す



1　スライド台が上昇します。
2　リフトの上昇が終わると、自動的に洗い場方向へ水平移動を始め、最初の位置まで戻ると自動的に止まります。
3　途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。

参考　リフト本体から椅子下部を切り離してご使用中の場合、上昇がおわっても水平移動しません。下部を連結させてから出浴スイッチを押してスライド台を水平移動させてください。

ご注意　出浴動作完了後、入浴スイッチ及び出浴スイッチを押しても動作しません。再び入浴する場合は、車椅子上部を車椅子下部と合体させ、リフトと車椅子の連結を解除して、最初から入浴の操作を行ってください。

⚠警告

・入浴スイッチを押す前に、必ず手で湯温を確認

熱いとやけどをする恐れがあります。

・入浴中の入浴者の状態に注意

入浴者の水没等がないように、常に看視してください。

・入浴・出浴動作中、入浴者の手足に注意

思わぬ所で挟まれる恐れがあります。また、手，肘，足先，膝が椅子の幅よりはみ出ていると、駆動部に当たるなど、けがをする恐れがあります。危険を感じたらすぐに停止スイッチを押してください。

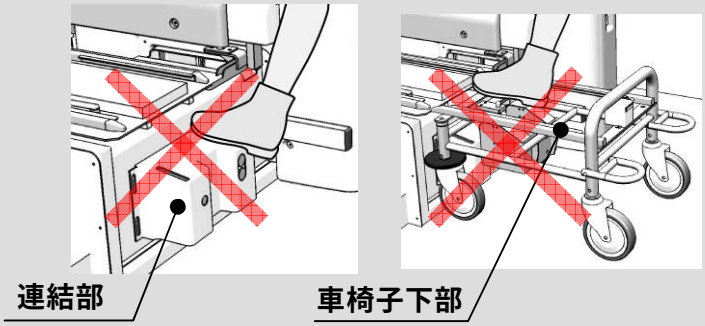
⚠注意

・リフトを動かすときは、周囲を確認する

浴槽内のリフト動作範囲内に障害物や別の入浴者・介助者がいないことを確認してください。

・連結部や椅子下部に足を乗せない

リフトが誤操作し、思わぬ事故につながる恐れがあります。



・入浴者に異変があったら、すぐに入浴を中止する

入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

出浴復帰スイッチの操作

出浴復帰スイッチは、出浴スイッチを押してもリフトが上昇できないとき、に使用します。

1　出浴復帰スイッチを押します。出浴復帰スイッチが点滅し、スライド台が上昇します。その後、上限で自動停止します。

2　出浴スイッチを押します。
出浴スイッチを押している間だけスライド台が洗い場方向へ水平移動します。

3　椅子上部より入浴者を抱きかかえて外に出し、入浴を中止してください。

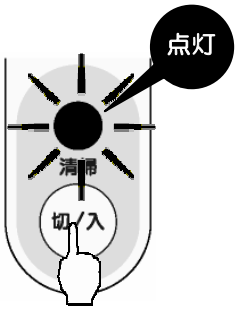
⚠注意　出浴復帰スイッチの操作を行った後は、本製品の使用を中止
最寄りの営業所にご連絡ください。

ご注意　椅子下部がリフト本体に連結していない場合は、出浴スイッチを押しても洗い場方向へ移動しませんので注意してください。

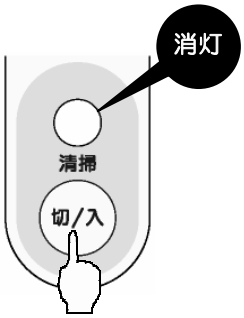
参考　リフトの故障でない場合に、入浴中に出浴復帰スイッチを押すと出浴復帰スイッチが点滅し、スライド台は上昇して自動停止します。解除する場合は、出浴復帰スイッチを再度押してください。出浴復帰スイッチの点滅は消灯します。但し、スライド台が最初の位置まで戻ってきて停止すると、入浴スイッチ及び出浴スイッチを押しても動作しません。再び入浴する場合は、椅子上部を引き出し、一度リフトと車椅子の連結を解除して、最初から入浴の操作を行ってください。

清掃スイッチの操作

清掃スイッチは、スライド台の下など、スライド台を動かして清掃したいときに使用します。昇降動作はできません。



1　レール位置確認ランプが点灯（緑色）していることを確認します。
2　清掃スイッチを押し、清掃モードにします。
　清掃ランプが点灯（緑色）します。
3　入浴スイッチを押します。
　入浴スイッチを押している間だけスライド台が浴槽側へ移動します。
4　出浴スイッチを押します。
　出浴スイッチを押している間だけスライド台が洗い場側へ移動します。



5　清掃終了時は、スライド台が自動で停止する位置まで出浴スイッチを押し続けてください。
6　レール位置確認ランプが点灯していることを確認し、清掃スイッチを押して、清掃モードを解除します。
　清掃ランプが消灯します。

ご注意　清掃モードを解除（清掃ランプ消灯）するためには、スライド台を最初の位置に戻す（レール位置確認ランプ点灯）必要があります。必ずスライド台の位置を戻してからから清掃モードを解除してください。スライド台を最初の位置まで戻すまでは清掃モードは解除できません。

停電時の操作

1　入浴中、停電または故障により装置が動かなくなった場合、入浴者を抱きかかえ、浴槽の外に出します。
2　電源復帰後、出浴スイッチを押して、スライド台を最初の位置まで戻します。（レール位置確認ランプ点灯）
3　走行用ハンドルを握って、椅子上部を下部と合体する位置まで引き出します。
4　椅子上部と下部が合体すると、連結解除ランプが点灯します。
5　連結解除スイッチを押すと、車椅子とリフトの連結が解除されて、車椅子を移動させることができます。

参考　リフト本体から椅子下部を切り離してご使用中の場合、上昇動作後に自動で停止し水平移動はしません。下部を連結させてから出浴スイッチを押してスライド台を移動させてください。

ご注意　＜水平移動中の停電時の操作について＞

リフトが横行動作中に停電により動かなくなった場合、椅子上部より入浴者を抱きかかえて外に出します。電源復帰後は、出浴スイッチしか効きません。スライド台を最初の位置まで戻し、椅子上部を引き出して、リフトと車椅子の連結を解除してください。

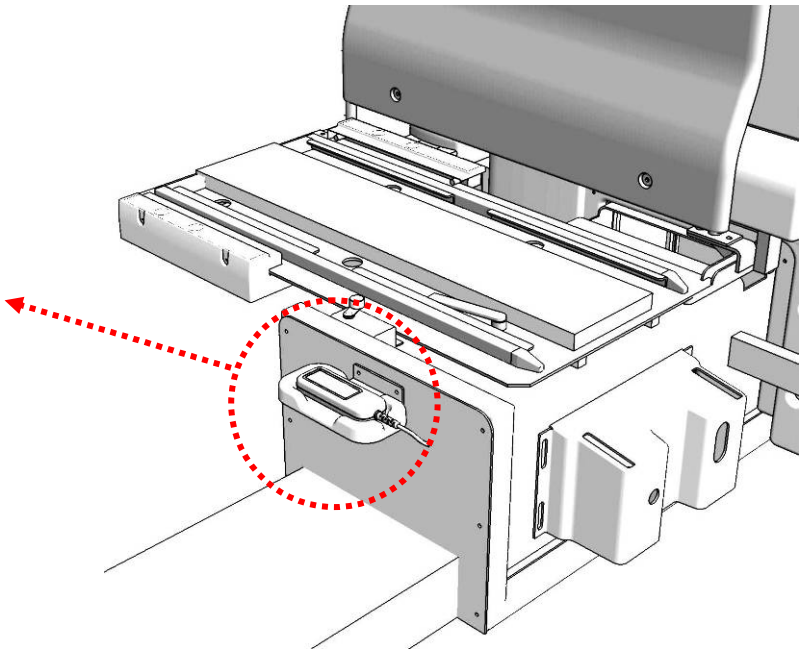
＜清掃中の停電時の操作について＞

清掃モードにして清掃後、スライド台を最初の位置に戻す前に停電で電源がOFFになった場合、次の入浴時（電源投入時）は通常の入浴手順では入浴できません。下記の手順に従って入浴を行ってください。

1　空の車椅子を連結台に進入させて、連結します。
2　連結完了ランプの点灯を確認後、出浴スイッチを押します。出浴スイッチを押すとスライド台が洗い場側に移動します。
3　スライド台が最初の位置まで戻ると（レール位置確認ランプ点灯）、車椅子の上下が分離されます。
4　車椅子の上下が分離したら、通常の入浴手順と同じように椅子上部を脱落防止ストッパーでロックする位置まで押し込んで入浴操作を行います。（以降は通常の入浴手順で入浴できます）

リモコンスイッチの操作（オプション）

リモコンスイッチは、介助する方が入浴者のそばでコミュニケーションを図るのに便利です。リモコンの操作スイッチは、本体の操作部のスイッチを押したときと同じ動作が行えます。



注意

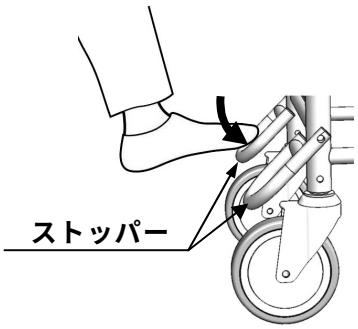
- **リモコンスイッチに水をかけない**
- **リモコンスイッチのボタンは、必ず親指の腹で押す**
- **リモコンスイッチの取り扱いに注意**
- **リモコンスイッチはリフトの近くで操作する**
- **入浴者にリモコンスイッチの操作をさせない**
- **リモコンコードの位置に注意**

入出浴手順

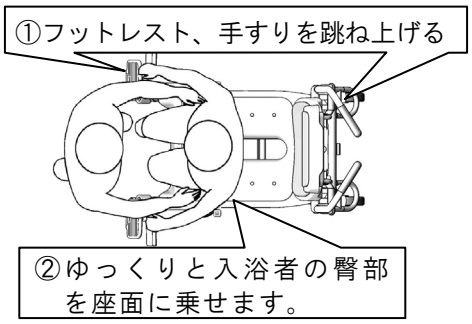
◎P.11 **操作方法（各部）**、別冊**入浴用車椅子の操作方法（LL-400C の各部）**を参照し、注意事項を守りながら入出浴の操作を行ってください。

1 車椅子への移乗

❶ 車椅子のキャスターをロック

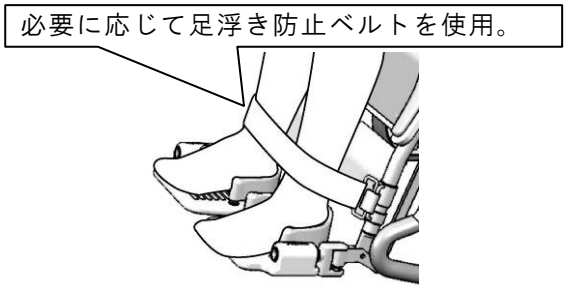


❷ 車椅子に移乗



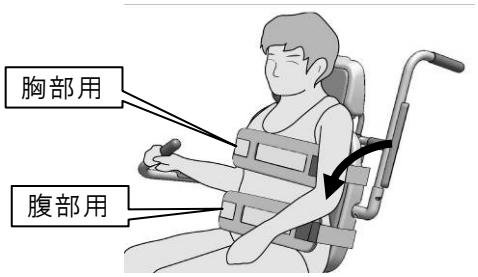
⚠ 警告　車椅子への移乗作業等は落下・転倒に注意

❸ フットレストに足を乗せる



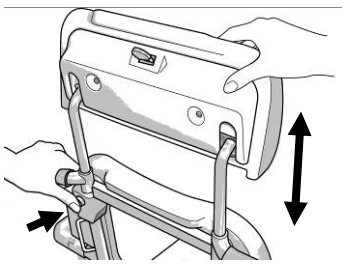
⚠ 警告　入浴者をフットレストの上に立たせない

❹ 安全ベルトを着用し、手すりを握らせる



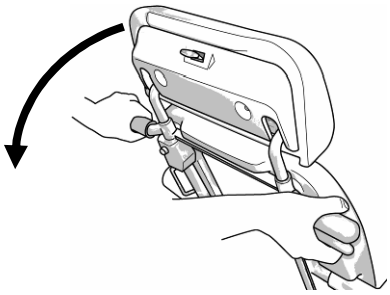
⚠ 警告　車椅子に乗せたら安全ベルトを必ず使用する

❺ 枕の高さを調節する



入浴用車椅子の操作方法参照

❻ 必要により背当をリクライニングさせる

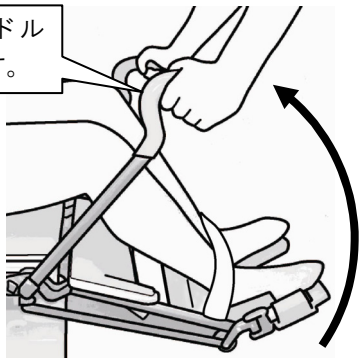


入浴用車椅子の操作方法参照

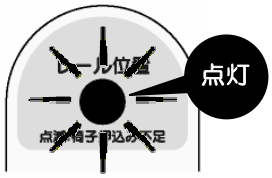
2 浴槽への進入

❶ フットレストの持ち上げ

足上げハンドルを使用します。

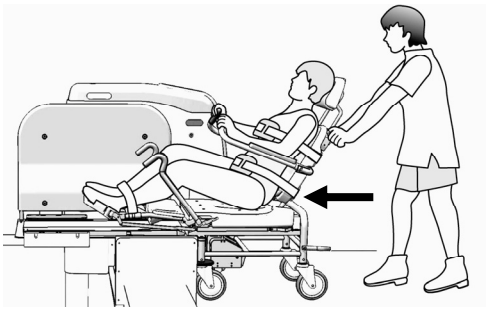


❷ スライド台の位置確認



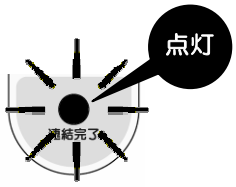
❸ リフトへのセット

車椅子を正面からリフトへ進入させます。



❹ リフトと連結

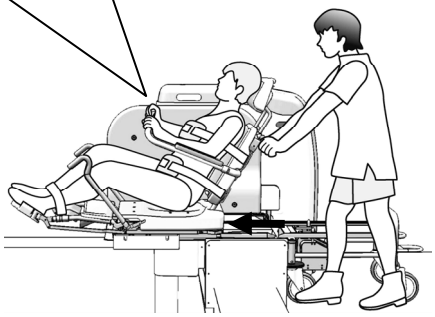
リフトのキャスターガイドに沿って進入すると所定の位置でリフトと連結します。



車椅子とリフト本体の連結が完了すると連結完了ランプが点灯します。

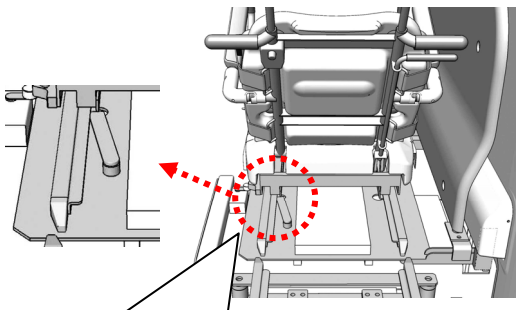
❺ 車椅子の上下分離

連結完了ランプが点灯すると、車椅子上部が分離します。



進入時は入浴者の足元に注意。

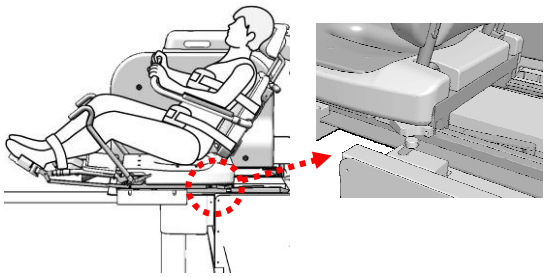
❻ スライド台と車椅子上部ロック確認



車椅子の上部をスライド台の脱落防止ストッパーへ押し込み、ロックを確認します。

3 入浴

❶ 入浴開始位置へのセット



スライド台と上部のロック終了後、上部を入浴開始位置へセットします。

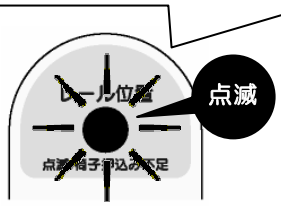
❷ 入浴開始

入浴開始位置へセット終了後、入浴スイッチを押すとスライド台が移動し、浴槽への進入を開始します。

⚠警告　入浴前に浴槽内湯温を手で確認する

❸ 浴槽への進入確認

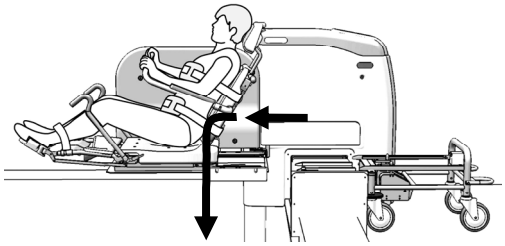
入浴開始位置へのセットが不十分であると、入浴スイッチを押した際、レール位置確認ランプが点滅します。



スライド台が浴槽へ移動を開始すると、レール位置確認ランプが消灯します。

❹ 入浴動作中の確認

スライド台の横移動が終わると、下降を開始します。



⚠警告　スライド台動作中、入浴者の手足に注意

❺ リフトの停止

リフトの下限に達すると、下降動作は自動で停止します。

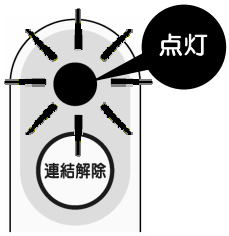
入浴者の体格に合わせてリフトを途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。

⚠警告　入浴中の入浴者の状態を常に注意

4 入浴中の車椅子下部の分離と連結

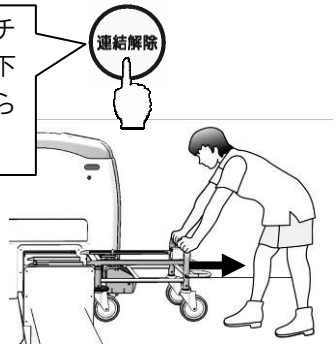
❶ 連結解除ランプの点灯

入浴中（スライド台が浴槽内にある時）、リフトと車椅子下部の連結を解除できること示す、連結解除ランプが点灯します。



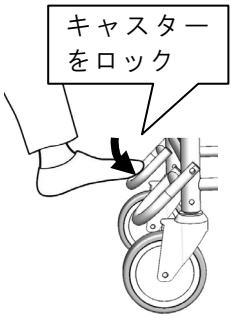
❷ リフト本体との連結解除

連結解除スイッチを押して、車椅子下部をリフト本体から切り離します。



車椅子下部がリフト本体から引き出されると連結解除ランプ及び連結完了ランプが消灯します。

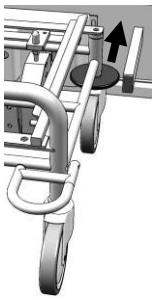
❸ 安全な場所に移動



車椅子下部をリフト本体から離れた位置に停止させます。

❹ リフト本体との連結

リフト本体のキャスターガイドに沿って、車椅子を進入すると所定の位置でリフトと連結します。

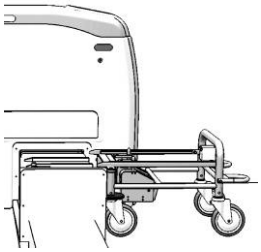


車椅子下部とリフト本体の連結が完了すると、連結完了ランプが点灯します。スライド台が浴槽側にある場合は、連結解除ランプも点灯します。

5 出浴

❶ 車椅子下部の確認

車椅子下部がリフト本体に連結されていることを確認する。



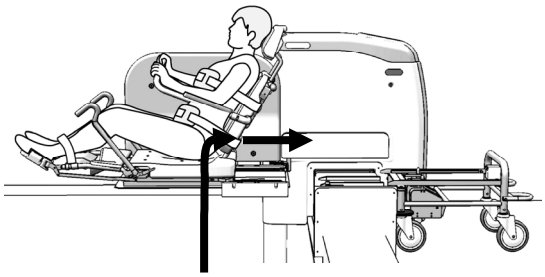
車椅子下部がリフト本体へ連結していない場合、上昇動作は行いますが洗い場側への横行動作は行いません。

❷ 出浴開始

出浴スイッチを押すと、上昇動作を開始します。

浴槽内のリフト動作範囲内に障害物や別の入浴者・介助者がいないことを確認してください。

❸ 出浴動作中の確認

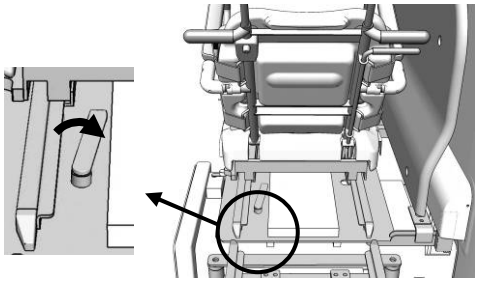


⚠警告　動作中、入浴者の手足に注意

スライド台が上昇し、自動的に洗い場側へ移動します。

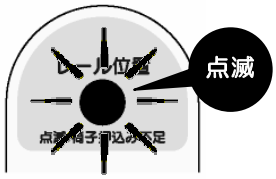
介助者はリフト作動中に自動で動いている付近に接近したり、むやみに触れたりしないでください。

❹ 脱落防止ストッパー解除の確認



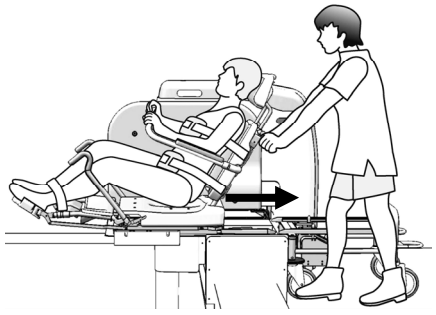
スライド台が洗い場側の規定位置に達するとスライド動作を自動的に停止します。また脱落防止ストッパーは解除されています。

❺ スライド台の位置確認



6 入浴用車椅子の退出

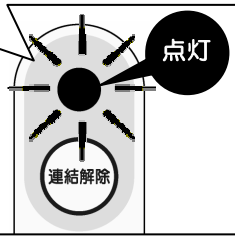
❶ 車椅子上部を引き出す



入浴者の状態に注意して、車椅子上部を引き出す。

❷ 車椅子上部と下部の合体

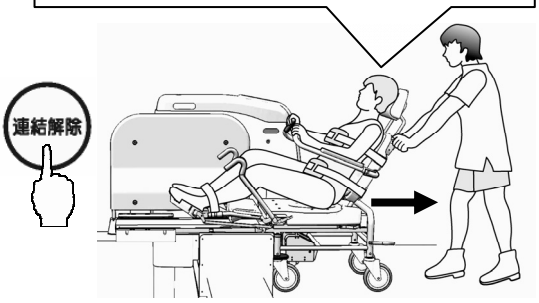
車椅子上部と下部が合体すると連結解除ランプ（緑色）が点灯します。



合体完了後、車椅子を押し引きして車椅子上部が下部から離れないことを必ず確認してください。

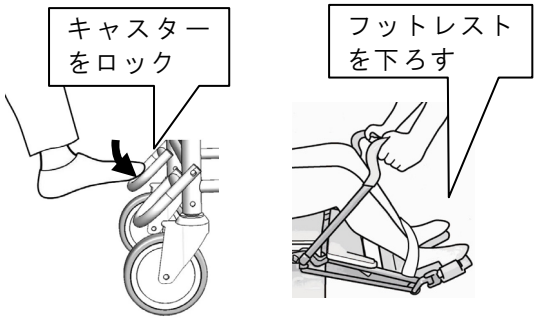
❸ リフトとの連結解除

連結解除スイッチを押して、車椅子をリフトから切り離します。



車椅子がリフトから引き出されると連結解除ランプが消灯します。

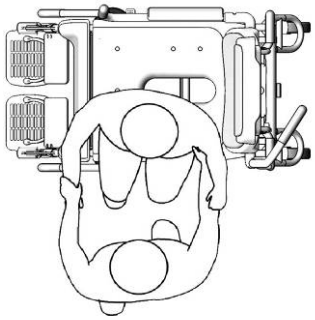
❹ 安全な場所に移動



車椅子を浴槽から離れた位置に停止させます。

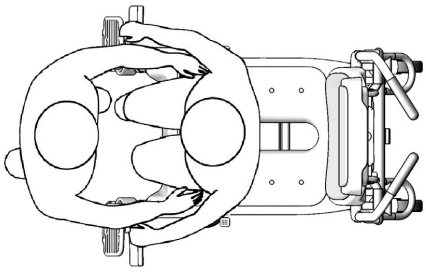
7 入浴用車椅子からの移乗

A．サイド（左または右側）から入浴者を降ろす場合



手すりを跳ね上げて、入浴者の足をサイド（左または右）へ回し、介助しながら立ち上がらせます。

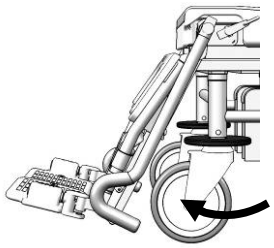
B．前方から入浴者を降ろす場合



フットレストを外側へ跳ね上げて、前方から介助しながら立ち上がらせます。

ご注意

移乗の際、車椅子後部が浮き上がることがありますので注意してください。前輪２輪のキャスターがフットレストに近づくようにキャスターの首を振らせると安定性が増します。



警告　・入浴者をフットレストの上に立たせない

車椅子後部が持ち上がり非常に危険です。

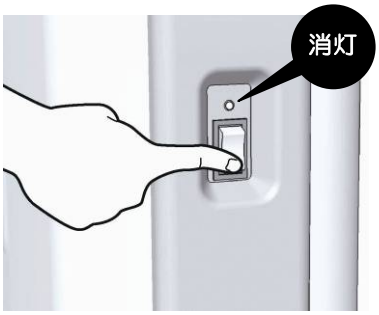
・車椅子を移動するときは、浴室の排水溝蓋の隙間等に注意

キャスターが隙間等に挟まると、車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

入浴終了後の操作

1日の入浴作業が終了したときや、昼休みのため入浴作業を休止するときは、以下の操作をしてください。

1　リフト本体の電源スイッチを OFF（電源ランプ消灯）にして、操作部の表示ランプ類が消灯していることを確認します。
2　浴室外のリフト用の電源ブレーカーを切ります。
3　浴室の窓を開けるなど十分に換気をして、浴室の湿度を下げてください。



ご注意　リフトの電源を切るときは、リフトと車椅子の連結を解除してください。リフト内に車椅子上部を残したまま電源を切ると、次に電源を入れたときに入浴ができません。誤って上部をリフト内に残したまま電源を切ってしまった場合、P.18 の「停電時の操作」に従って操作を行ってください。

日常のお手入れ

清掃

- １日の入浴作業終了後は、リフトをきれいに洗浄してください。
- 操作部や本体カバーの合わせ目には水をかけないでください。
- 浴室床面を洗う際には水がはねかからないように注意してください。
- 操作スイッチは雑巾等で軽く拭く程度にしてください。
- 本機のカバー類は、プラスチック製です。たわし等で擦りますと傷がつきますので、スポンジ・雑巾等の柔らかい物でふいてください。
- 洗剤は市販の浴槽用中性洗剤をご使用ください。
- ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭き取ってください。
- スライド台の下などを清掃するときは、車椅子を連結しないでスライド台を浴槽側まで移動します。（P.17「清掃スイッチの操作」参照）

✹ 薬液について

薬液を取り扱うときは、容器に書かれている使用上の注意をよくお読みの上、製品に悪影響を及ぼさないようご使用ください。

⚠危険　次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない
人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

メンテナンス

- 本機は油圧駆動方式を採用しています。オイルタンク内にごみや水分が混入すると故障の原因となりますので、２年に一度作動油の交換が必要です。また、油圧のホース及びチューブ類も長期間の使用により劣化しますので、３年に一度交換が必要です。

（弊社サービスマンにご用命ください）

このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
電源が入らない。	電源が入っていない。 浴室外電源が落ちている。	電源を入れてください。 浴室外電源を上げてください。
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。
入浴・出浴スイッチを押しても動かない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	スライド台が入浴開始位置にない（レール位置確認ランプが消灯している）。（入浴スイッチのとき）	出浴スイッチを押してください。
	車椅子下部がリフト本体に連結されていない。（出浴スイッチのとき）	車椅子下部をリフト本体に連結してください。
	油圧系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
	電気系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
入浴・出浴作動中に途中停止してしまった。	油圧系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
	電気系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
昇降時に異音がする。	グリス切れ。	最寄りの営業所にご連絡ください。
レール位置確認ランプが点滅している。	車椅子上部がスライド台の入浴開始位置にない。	車椅子上部を押し込んでください。
清掃ランプが消灯できない。	スライド台を元の位置に戻していない。	スライド台が止まるまで出浴スイッチを押し続けて下さい。
出浴復帰スイッチが点滅している。	出浴復帰動作中。	出浴復帰スイッチを押して、出浴復帰モードを解除してください。
出浴復帰スイッチの点滅が解除されない。	電気系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。

- その他、ご不明な点がございましたら最寄りの営業所にご相談ください。
- 万一故障が発生した場合は、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	オイル等の漏れ	目視
（電源投入後）機能	電源ランプの点灯	目視
	車椅子の連結・連結解除	車椅子をリフトに連結して力を加えロックが外れないか確認 連結解除スイッチ押下後、正常にロックが解除されるか確認
	車椅子の分離・合体	車椅子をリフトに連結後、上部が分離するか確認 出浴動作後、車椅子上部を引き出して下部と合体するか確認
	リフトの昇降	車椅子上部をスライド台にセットして、スムーズに昇降・停止するか確認

（入浴用車椅子の始業点検については、入浴用車椅子の取扱説明書をご覧ください）

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*LL-400R/L*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決してカバーを開けたり、機器を分解しないでください。

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  作動油

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  油圧ホース・チューブ

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

リフト本体

型式		LL-400R（L）
外形寸法		1126～1596(L)×907(W)×1573(H)mm ※浴槽底面 FL-550 のとき（L）：出浴位置～入浴位置
質　量		約 250 kg
昇降ストローク		840 mm ※浴槽底面 FL-550 のとき
電　源		単相 100V　50/60Hz　15A
電　力		420W/520W
材質	支　柱	ステンレススチール
	フレーム	ステンレススチール
	カバー	ステンレススチール，プラスチック
昇降方式		電動油圧式チェーン駆動
スライド方式		電動油圧式リンク機構
付属品		取扱注意銘板、DVD 取説ポイント

オプション　＜リモコンスイッチ＞

型式	LL-413
外形寸法	130(L)×48(W)×22(H)mm
材　質	プラスチック，ポリエステルシート
その他	有線方式

注.都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。